

**JR 福知山線脱線事故で起訴！**

**JR 西日本山崎社長辞任！**

2005年4月25日に乗客、運転士、そして事故後に自殺された方を含む108名が亡くなったJR福知山線脱線事故で、神戸地検は8日、JR西日本の山崎正夫社長を業務上過失致死傷罪で起訴しました。山崎社長は起訴を受け「改めて私及び経営陣が責任を重く受け止めないといけない」と述べ辞任を表明しました。

起訴理由は発表によれば、山崎社長は事故現場のカーブが急カーブに変更された96年当時、安全対策の責任者であり、カーブの危険性を認識していたにもかかわらず、速度超過を防ぐATSを設置せず、速度超過の電車を脱線させ乗客を死傷させたとなっています。

しかし、書類送検されていた事故当時の経営トップである井手、南谷、垣内3名の歴代社長と他8名の幹部は不起訴とされています。山崎社長の起訴、そして辞任をもって責任を逃れることは絶対に許されません。

JR福知山線脱線事故の背景には「日勤教育」が大きな要因としてあるのはいまでもありません。彼ら経営陣によって事故が引き起こされたといっても過言ではないのです。にもかかわらず「日勤教育」が今も続けられ、安全が脅かされている現実を変えなくてはなりません！

さらに賃金制度による昇進や賃金の差別を行い、労務管理をより強化しJR西労の仲間を敵視する経営陣を私たちは許しません！

私たちは鉄道の安全と、乗客と仲間の命を守るために、JR西労の仲間と連帯し、こうした無責任な経営陣とは断固闘います。JR西日本経営陣は事故の責任を重く受け止め、遺族の声に応え、企業体質の一新をはかるべきです！

**井手、南谷、垣内3歴代社長に責任は無いのか！**